飯塚病院

innovate and evolve

研究のためカルテの情報を使用させて頂いています

◎対象となる患者さん：飯塚病院に入院中に新型コロナウイルス感染症患者/スタッフと濃厚接触歴のある方

1、研究の題名 『SARS-CoV-2 オミクロン変異体流行時期における COVID-19 発症リスク因子の検討』

研究期間： 2022 年 04 月 18 日 ～ 2023 年 03 月 31 日

2、研究の目的

SARS-CoV-2 オミクロン変異体はデルタ変異体と比較し、2～3 倍感染伝播しやすいと言われています。また、mRNA ワクチン 2 回接種による発症予防効果は 20%未満、3 回接種でも 60～70%程度ですので、免疫逃避によるワクチンブレークスルー感染も多いです。さらに、入院患者さんの 20%は入院後 7 日以上経過してから COVID-19 と診断されているというデータもあり、患者さんの入院時 PCR スクリーニングという水際対策にも限界があります。そのような特性から、COVID-19 院内感染対策はより困難を極める状況になっています。

オミクロン変異体による COVID-19 市中感染が拡大していた国内第 6 波の時期（2022 年 2～3 月）に、当院では複数部署に渡る大規模クラスターを経験しました。特に濃厚接触者のなかで高リスクと認定された多くのスタッフの欠勤は、病院運用上、大きな痛手となり、通常業務を縮小せざるをえない一つの要因となりました。現時点でオミクロン変異体に関して、医療機関における濃厚接触の程度による COVID-19 発症リスクの詳細を検討した研究は数少ないです。今回、我々がそれら発症リスク因子やリスク分類の妥当性等を検証することで、今後の医療機関における科学的根拠に基づいた意思決定の一助となることを目的とする研究です。

3、以下の期間に上記（◎対象となる患者さん）を満たした方が対象です

対象期間： 2022 年 01 月 03 日 ～ 2022 年 04 月 30 日

4、本研究で使用する情報について

本研究に関して診療記録から 以下の情報を取得します。

［患者背景］

患者因子：年齢、性別、基礎疾患（悪性腫瘍、COPD、慢性腎臓病、肝疾患、糖尿病、高血圧、脂質異常症、肥満：BMI≧30、固形臓器移植後）、喫煙、妊娠後期、ステロイド/免疫抑制剤の投与、ADL、オムツの有無、エアロゾル発生処置の有無、入院部屋（個室/多床室）、ワクチン接種回数とその時期、スタッフの病棟毎の手指消毒回数、スタッフの職種

濃厚接触度：接触時間、距離、暴露源・暴露者の着用していた個人防護具の種類（不織布/サージカルマスク、N95 マスク、目の防護具、エプロン、ガウン、手袋）

［検査所見］

COVID-19 確定者の Ct 値

［アウトカム］

COVID-19 確定者の症状（無症状、有症状）、重症度、最終転帰（軽快、死亡）

5、取得情報の利用範囲

飯塚病院 で使用します。

6、本研究の責任者

この研究の責任者は以下の者です。研究の成果を学会や論文等で発表する際には名前等を番号や記号に置き換え個人が特定できない様に行います。また、この研究にあたり個人情報の漏洩等がないよう取得した情報等を管理し、患者さんに不利益がない様責任を持ちます。

（科名又は部署名）飯塚病院 感染症科
（研究責任者名）的野多加志

7、対象となる患者さんまたはそのご家族等の方へ

この研究にあなたの情報が使用されることを希望されない場合や疑問点などがありましたら、ご遠慮なく下記連絡先までご連絡ください。お申し出頂いても、不利益を被ることは一切ございません。どうぞ、ご安心ください。
また、この研究の計画書を研究に支障のない範囲で閲覧することができます。その場合も下記連絡先までご連絡下さい。

（連絡先）0948-22-3800（代表）
（担当者名）飯塚病院 感染症科 的野多加志